

# 本能まちづくりニュース

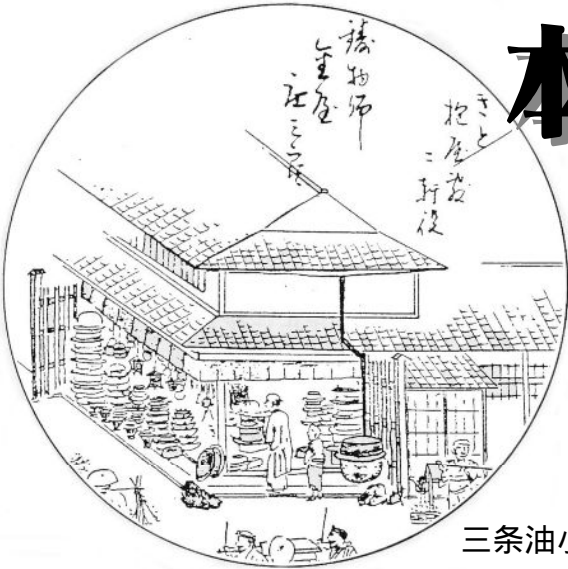
第56号 平成22年11月1日発行

本能まちづくり委員会  
委員長 杉下浩教

E-mail: post@honnoh.net

URL http://www.honnoh.net

本能まちづくりニュースのカラー版は、ホームページでご覧ください。



三条油小路町絵図より鋳物師釜屋庄三郎方

## 早秋の学区行事特集

## 夏まつり、敬老会、体育祭

ようやく秋めいてまいりました。今号では、本能学区で以前から毎年行われている学区行事をご紹介します。

### ステージも盆踊りもバージョンアップ 本能夏まつり

8月21日、仁科繁一夏まつり実行委員長・平野雅左夫自治連合会長の挨拶を合図に本能夏まつりが開催されました。ステージでは堀川高校ブラスバンド部の演奏に始まり、ハンドベル、サクソとシンセサイザー、メンバーが前年度比2.5倍にバージョンアップした“ザ・本能ズ”、カントリーバンド“ドリフティングホーボーズ”が会場の皆さんを沸かせて下さいました。一方会場ではゲームコーナーにはスーパーボールすくい、コイン落とし、輪投げ、ダーツ、射的。飲食コーナーにはカキ氷、たこ焼き、焼き餃子、トウモロコシ、焼きそば、フランクフルト、焼き鳥、枝豆、唐揚げ、フライドポテト、



ドリンク類。地域のお店コーナーには米満さん、双月堂さんに出店して頂きました。どのコーナーにも長蛇の列が出来、大盛況でした。

今年の盆踊りは例年と違い、芝生の養生の為に櫓（ヤグラ）を立てず、堀川高校に朝礼台をお借りして盆踊りの櫓代わりにして開催されました。その為に提灯の飾り付けの配置も変わっていたので一抹の不安は有りましたが、蓋を開けると例年通り多くの皆様に

参加して頂き、心配は吹っ飛びました。それどころか本能高齢者施設の入居者の皆さんも多く踊りの輪に入り、一緒に踊って頂きました。中には車椅子に乗り職員の方に押して来てもらった方が途中から御自分で立たれ踊り



盆踊り

り出された方もいらっしゃいました。その光景を施設の職員の方と一緒に見ていたら、そこで踊っている方々は本来杖をつけて歩いておられるのですが、今は杖無く踊られていると教えていただきました。このことだけでも本能夏まつりの意義があり、続けて行かなければならないと強く感じました。

午前中の準備から手伝って頂いたスタッフ60名、実行部隊として集合して頂きました本能自治連合会各種団体の会員の皆様、御池中学のボランティア17名、堀川高校ブラスバンド部43名カントリーバンド等々の230名を超えるボランティアスタッフに支えて頂いて本能夏まつりは開催されました。本能地区のまちを良くしようと思う地域の多くの熱い底力を感じました。連日続く猛暑の中で熱中症が心配されましたが全員が無事、怪我も無く倒れる事も無く終了することが出来ました。皆様有難う御座いました。(谷田)

「本能夏まつり」の源流は、昭和62年の本能体育振興会主催の「本能夜店」です。8月下旬、各町内では地藏盆が行われます。これを拡大し、昼間各町内で地藏盆を楽しんだ子供達とともに大人も夜店で遊んでもらおうという思いから始められました。本能小学校校庭に準備された手作りのゲームコーナーに当時の子供達は大いに喜び、小川通(蛸薬師から錦を通行止めにして)に焼きそば・お好み焼き・カキ氷などの模擬店が並びました。今やゲームコーナーの機器は進化し、夜店のメニューはバエラエティーに富んでいます。平成12年にまちづくり委員会共催「本能夏まつり」となり(平成13年以後自治連合会主催)盆踊り復活。開催場所は、本能小学校校庭から、校舎解体・施設建設工事中は小川通・本能公園一帯に移りました。複合福祉施設完成後は、本能グラウンドで行われています。平成12年以後の夏まつりの様子は、本能まちづくりニュースバックナンバー(5・10・14・18・24・29・34・40・46・51号。HPでご覧下さい)で報じています。(N村)

今年も、9月20日の「敬老の日」に京都国際ホテルでスタッフを含め215名で賑やかに開催出来ました。中京区長



様をはじめ、各学校の校長先生、中京社会福祉協議会会長様達を御来賓に迎え、定刻の午前11時から一部の式典が始まり、その中で、地域の生徒さん達が心をこめて作られたプレゼントをいただきました。その後の二部では数々の余興が行われて楽しく食事をいただきました。皆様本当にお元気で、心配をしていた事故も無く、午後2時30分に閉会とさせていただきます。

昨年より、スタッフを含めて全員からワンコイン500円を頂いています。それは、ホテルを利用するに付け、経費がかさむことが理由ですが、参加される方々に少しでも御出費いただき、参加意識を持っていただく為でもありました。皆様、気持ちよく500円払って頂き、和やかに終えることが出来ました事、連合会長をはじめスタッフの皆様、御来賓の皆様、国際ホテル、そして、御参加いただいた会員の皆様のお陰と感謝いたします。ありがとうございました。

ところで、本能敬老会はいつ頃から始まっているのでしょうか？これは、御参加頂いた御長老の方々が御存じのことかもしれませんが、聞いたところによりますと、

平野雅左夫連合会長から3代前の中川卯三郎会長の時(昭和40年頃～昭和52年)既に行われていたとのことです。次の安西圭之助会長の頃(昭和53年～平成12年)にしっかりとした形になったのではないのでしょうか。

当時は、本能小学校の講堂に、紅白の幕を張り、前半分に座布団席、後半分に長椅子席をもうけ開催されていたことを記憶しています。その頃は、10月に行われ、女性会の方々がお茶を接待され、会員の方々が習っておられたお花やちぎり絵が展示されていました。年によっては、たこ焼きや、みたらし団子の屋台が出た年もあった様に思います。余興は、会員の皆様による踊り、手品そして、カラオケ等が行われていました。その後、本能小学校が統合となり校舎が取り壊された時には、堀川高校の一階のアトリウム(広い廊下)をお借りして行いました。そして、新しい施設が建ってから、何回か堀川高校本能ホールで行いました。しかし、会員様の増加と、敬老の日が9月中頃で大変暑いということもあって、現在の形となりました。以前に行われていた本能ホールは学区の中にあり、近くで気軽に参加頂ける利点がありました。しかし、御高齢の方もいらっしゃるということで、暑さを考えるとき、少し離れていますがホテルを利用して頂くこととなった次第です。今後、どのような形で行うのかは、皆様のお知恵を借り、よりよい本能敬老会を末永く開催出来るようにと考えています。

最後に、永きにわたり本能敬老会を続けてこられたことには、昭和40年頃から、いつも司会として会を盛り上げていただいております坪内三郎さんの力を忘れてはならないと思っています。感謝すると共に、今後共よろしく願い致します。

前号で報じましたように今夏も祇園祭で多忙を極めておられていた、蟻螂山保存会会長城野充氏に、ご寄稿をいただきました。いつかの機会に、蟻螂山にまつわる具体的なお話を、お聞かせ願いたいものです。

## 本能学区と蟻螂山

蟻螂山保存会 城野 充

平素は蟻螂山保存会に対しまして多方面でご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

みなさまご存知のように、旧本能小学校跡の油小路側の一角に本能地区を案内するパネルがあり、蟻螂山が「本能地区に唯一残る祇園祭山鉾のひとつ」と紹介されています。お恥ずかしいことに、わたしがこの案内パネルの存在に気づいたのは、いまから三年ほど前のことでした。この案内文はわずか18文字の短いものです。しかし、この文章からは「蟻螂山町の住民だけでなく、本能地区の多くの方々もまた、祇園祭・蟻螂山に愛着をもち、誇りにして下さっている」という、非常に大切なメッセージがわたしに伝わってきます。じつは、蟻螂山保存会の会長の任を仰せつかった年の秋だったと記憶していますが、役員数人で円山公園にある蟻螂山の収蔵庫内の物品の整理、点検をしていた際、数多くのダンボール箱のなかの一つに、山の復興に際して本能地区の方々から頂戴したご寄付の記録があることを発見いたしました。それを手にして、100年ぶりの蟻螂

山の復興に注がれた近隣の人々の温かいまなざしに、しばし想いを馳せた次第です。

お陰さまをもちまして、来年は復興30周年の記念の年を迎えます。この節目の年を前にして、蟻螂山保存会と本能地区の関係は新たな一歩を踏み出し始めています。この歩みは、山鉾巡行の舁き手を本能まちづくり委員会に要請したことにはじまり、本能自治連からの蟻螂山保存会への協力金の予算化と執行、そして昨年からは本能地区から御供2名、舁き手2名の参加へと、確かなものになってきていると思っています。とくに3番目の、御供および舁き手としてお祭りに参加いただくことにつきましては、その人選は自治連にお任せしていますが、毎年さまざまな方々が山鉾巡行を通じて祇園祭という神事にふれていただければ、と願っているところです。

「社会」の語源には、「祀る」「集う」があるといわれていますが、この意味とともにいま一度復興に尽力された地域の先達の想いをふりかえり、蟻螂山のこれからを展望していきたいと考えています。



## 敬老プレゼント 地域の子どもたちから、ありがとうの気持ちを形に

例年、敬老の日に京都御池中学校・高倉小学校・御所南小学校の子供たちからプレゼントが届きます。本能学区では敬老会の時に中学生・小学生から「見守り隊」へのお礼の言葉、運動会など学校行事へのお誘いの言葉とともにプレゼントが手渡されます。毎年趣向を凝らしたこのプレゼントはどのように企画・制作され届けられるのでしょうか。

敬老プレゼントは京都御池中学校けやきプロジェクトの福祉ボランティア部会と京都御池中学校の文化委員会が中心となり、生徒ボランティア、PTAの協力のもと作成されます。今年度は9年生（京都御池中学校3年生）が美術の時間に「何をプレゼントすればよいのか」を考えました。企画にあたっては「見て楽しめる」「手元に置いてもらえる」「扱いやすい形にする」など、まず受け取っていただく方のことを考えつつ、4年生から9年生まで「作りやすくみんなが取り組めるものを」という制作面も踏まえて、どんなプレゼントにするか生徒が一人ずつ案を出しました。一昨年は児童の俳句を書いたカレンダーを屏風仕立てにしたもの、昨年は百人一首カルタの絵柄に児童の俳句を描いた絵をコルクのコースターに仕立てたもの、といずれも身近に置いて楽しんでいただけるものでした。今年度も「和紙を着物のように折って写真立てにしようか」とか「京野菜をモチーフにしたものにしたらいかな」など9年生はいろいろ考えてくれました。そして折鶴と石にペイントして亀としたオブジェにメッセージを添えた「鶴&亀のペーパーウエイト」となりました。皆さんが健康で長生きして下さるよにとの思いが込められています。

6月初旬には案が決まり、文化委員会が中心となりPTAメンバーも協力して材料や制作手順を書いたレシピの準備が進められました。あわせて制作リーダーへの研修もあります。そして6月父の日、中学校の日曜参観日の授業時間を使って6・7・8年生は保護者と一緒に制作をしました。授業を見学するだけでなく子供たちと一緒に机を囲んで保護者の皆さんもわいわい制作されました。9年生は、この日けやき委員会の心の教育部会主催、地域の人や保護者としゃべろう「しゃべり場」へ全員参加していたので、後日制作しました。また高倉小・御所南小の4・5年生には各校へ中学生の生徒ボランティアが出向いて行って制作指導をしました。なかなか鶴が上手に折れなかったり、ペイントの線がうまくいかないなどですが、子供たちはそれでも心を込めて作り上げ

敬老会スタッフ杉下浩教さん談「出席者の数より贈り物が少なかったので、各テーブルに回って配らせていただくときに、けんかをせずにジャイケンで貰える方を決めてくださいと、念を押しておきました。私はもらえなかった、と言う声も聞くぐらいに、贈り物は人気がありましたよ。」このプレゼントは、昭和60年頃から続いています。まだ城翼中学校があった頃、「こころの花束」といって、中学生が、本能・明倫・龍池小学校の5・6年生に教えにいて、トルコキキョウなどの綺麗なペーパーフラワーを作ってお年寄りに手紙を添えて贈っていました。ご記憶にある方も多いと思います。もらったお年寄りから返礼が小中学校に送られてきたり、子供達とお年寄りの交流がありました。（N村）

ていきました。オブジェが完成すると子供たち一人ひとりが書いたメッセージを添え、行事案内と共にラッピング袋に入れ、完成です=写真。

この敬老プレゼントは本能学区を含めて14の学区\*の敬老会などでプレゼントされます。贈



呈に行くのも名乗りをあげた生徒ボランティアの児童です。こうして皆様のお手元に届きます。学校統合により校区が広がったこと、また本能学区でもそうですが高齢者の増加などで近年は毎年4000個ものプレゼントを用意されていたそうです。「今年度は各学区100個ずつの贈呈となり十分な数ではないのですが・・・」と、けやき委員会で福祉ボランティア部会から報告されました。たくさんのお年寄りに見守られて、地域で共に生活できることは子供にとって大変嬉しいことです。毎年の敬老プレゼントはこのようにして企画、制作されています。子供たちの感謝の気持ちが込められたプレゼントをお手元で末永くお楽しみください。（あ）

\*14学区：本能・明倫・城翼・日彰・初音・生祥・立誠・龍池・梅屋・柳池・竹間・富有・銅駝・春日

### 70才以上の方！

#### 案内状が届いてますか？

今年も9月20日に本能学区の敬老会が開かれ、70歳以上の方が招待されました。

該当者は区役所からリストが提出されるのでなく、各町内からの申告を自治連合会でまとめて案内しています。個人情報の壁でマンションの住民の方は案内状が届いていない場合があります。

昭和15年以前にお生まれの方で今年案内状が届いていない方は、町会長に、もしくはまちづくり委員会の委員（お取次ぎいたします）に、氏名・生年月日・住所等をお知らせください。（T・M）

### まちなかを歩く日「おいでやす染のまち本能」

11月14日（日）午前10時～午後5時 拠点：本能館（油小路通錦上る）

のれんの華スタンプラリー／のれんでビンゴ!!!／実演コーナー（京都旗印染同業組合青年部）

※ 受付時間等、詳しくはポスター、チラシをご覧ください。

**開催！**

## 本もの? 爆笑 復活「仮装行列」

## 第 58 回 本能区民体育祭

10月10日、堀川高校グラウンドにおいて本能体育振興会(久保周三会長)主催による区民体育祭が開かれました。前日から当日未明まで降り続いた雨も朝には止み、午前中から抜けるような青空が広がりました。今回は雨の影響を考えて競技開始時刻を予定より1時間遅らせ、一部プログラムの順序を組み替えて行われました。

今年の注目は9年ぶりに復活した「仮装行列」です。7つの町内と立命館大学の8チームが出場、参加者は幼児から高齢者まで年齢層も幅広く、衣装と化粧品に工夫を凝らし、踊りやパフォーマンスを展開するなど、会場は笑いに包まれました。審査員による投票の結果、優勝は元本能寺南町の「織田信長とお市の方、浅井三姉妹」に決定=右写真。衣装は勿論、かつらまで手作りで、着物の色彩の鮮やかさがグラウンドに映えて時代絵巻のようでした。信長に扮したのは何と特養の施設長さん。そしてお市と浅井三姉妹の役は町内の奥様方で平均年齢76歳、まさに熟女パワーです! そのほかにはハロウィンのコスチュームやアニメのキャラクター、そしてちょっと不気味なお笑い系ピンクレディー集団など、どのチームも役になりきる個性的な仮装行列でした。

12の競技はどの種目も出場者と町内応援席が一体となり、特にメドレーリレーでは盛り上がりも最高潮、まるで京都のパワースポットのような様子でした。競技終了後のプログラム抽選会では、当選者の名前があがるた



び拍手と歓声が起こり、和やかなうちに体育祭は終了。総合優勝は元本能寺南町、準優勝は本能寺町でした。

2002年から今年で9回目の会場となった堀川高校グラウンドですが、来場の皆さんはグラウンド内での飲食禁止の遵守、あるいは擦過傷対策のための長ズボン着用など、人工芝の環境にもすっかり慣れた体育祭となりました。

体振役員・委員の皆さんの企画と運営、町内各家庭への伝達、そして立命館大学の学生さんの協力で、今年も健康増進と住民交流のできた素晴らしい体育祭でした。本当にありがとうございました。(ゆ)

### 久保体振会長のお話

今年は天候の判断が難しいなか決行しましたが、結果的にはよかったです。若い方の参加が増え、勝負だけにこだわることなく皆さん楽しんでやってくれました。復活した仮装行列も思った以上の参加があったことはありがたいことです。ここ数年、お年寄りとお市の競技に力を入れてきましたが、そこに若い力が加わり、三世代が集う本能の体育祭はまさに誇りであります。今年も立命館大学の学生さんの協力のおかげで、事故や怪我もなく無事終えることができましたこと、お礼申し上げます。

本能体育祭は今年で58回目。昭和27年に体育振興会が組織されて以来毎年行われています。平成13年までは本能小学校校庭で、それ以後は堀川高校運動場をお借りしています。本能校の頃は、綱引き(年齢制限なく選手の総体重で人数が決まる)・区内訪問・借り物競走・割引競走・早食い競走・宅急便等、それにお昼休みの仮装行列。ユニークでユーモラスな種目がありました。しかし、出張開催の人工芝運動場では出来ない種目が消え、プログラムは変えられてきました。マンションの増加で町内情勢一変。総合順位も変動。元は町内・家族総出で間に合わせていたところでも、選手層が厚くなり、折角の人材も力を発揮出来ない状況が生まれてきました。競技所要時間との関係で、あまり種目を増やすこともできませんので、オープン競技を取り入れたり、若い学生さんの知恵もお借りして競技内容を工夫して、実施されています。今回、久保会長の発案で、仮装行列を復活されました。(N村)



### 本能まちづくり委員会 新メンバー募集!

~多くの方と新しいまちづくり活動を目指しています~  
参加・見学 大歓迎!

定例会 12月7日(火) 午後7時~  
本能自治会館1階会議室

ひとりこ ◎学区行事を顧みて、自分の記憶が曖昧であることがわかりました。世代交代の時期です。お読み戴きありがとうございました。(N村)